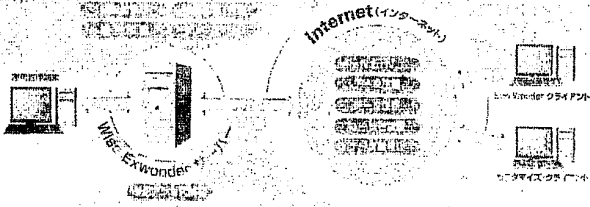


Wise Exwonder  
構成イメージ



「ワイス・エクswonder」構成イメージ

# 大容量データを高速配信

ITベンチャーのグローバルワイス(本社刈谷市第十町一ノ二〇二二、伊原栄一社長、電話0568・61・2060)は、企業内外におけるCADデータや在庫受発注情報など、大容量の電子データ交換を、インターネット上で総合的に提供する、新たな電子取引用インフラ技術「e-EDM」を開発した。

第一弾として五月に、の商取引データの交換。低価格で導入可能なデータ集配用ミドルウェア「ワイス・エクswonder」を、専用回線を使って行

## グローバル新サーバ技術を開発

「」を発売する。大企業向けに、高いデータを、統一的に設計部門やデザイン・受発注部門を始め、電子データ取引を行う中小企業を対象に、初年度で約二億円の売上高を見込む。

企業間連携のための情報システムは、VAN回線やVPN(バーチャルプライベート・ネットワーク)など、同一部

同社が提唱する新サー

主な交換データは、「CAD・CAMデータ」「医療電子データ」「EDI」など、大容量で高い機密性を必要とする各種企業データを想定。特殊技術で大容量データも三十分の一から二十分の一まで圧縮する。十が前

後のCADデータなら従

来スピードの約三分の一となる二十秒程度で受送信が可能になる。

B2B取引など大企業間の情報ネットワークシ

のVAN回線やVPNに

が、専用回線によるネットワークの構築は、サーバ導入費や運用コストが高価で、中小企業には

## 来月、低価格のミドルウェア発売

負担が大きい。近年、インターネット回線のブロードバンド化の進展で、安価で充実したネット環境を整備できる土壌が整い始めたことから新技術の開発に踏み切った。「ワイス・エクswonder」の価格設定は、初期のサーバ導入費が百万〜五百万円(クライアント数は千〜数万)。クライアント契約の場合のライセンス料は年間三千〜二万円。将来はASP事業との複合化も検討している。サービスの内容は、二十七日に名古屋で開催予定の企業イベント「UFBビジネスフォーラム」(主催UFB)にて公開する。詳細は同社ホームページ(<http://www.g-wis.co.jp>)を参照。(刈谷)